

No. 60
2020年 夏号

JCHO 玉造病院 広報誌
たまつくり
Tamatsukuri

Now ナウ

窓から穴道湖を臨み、広がる青空。
緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。



病院敷地内の百日紅の木

●最新医療レポート
歯科・口腔外科で活躍する最新設備

歯科・口腔外科診療部長 野津 一樹

- 医事課受付について
- コツコツ通信
- 今月のレシピ
- information



歯科・口腔外科で活躍する最新設備

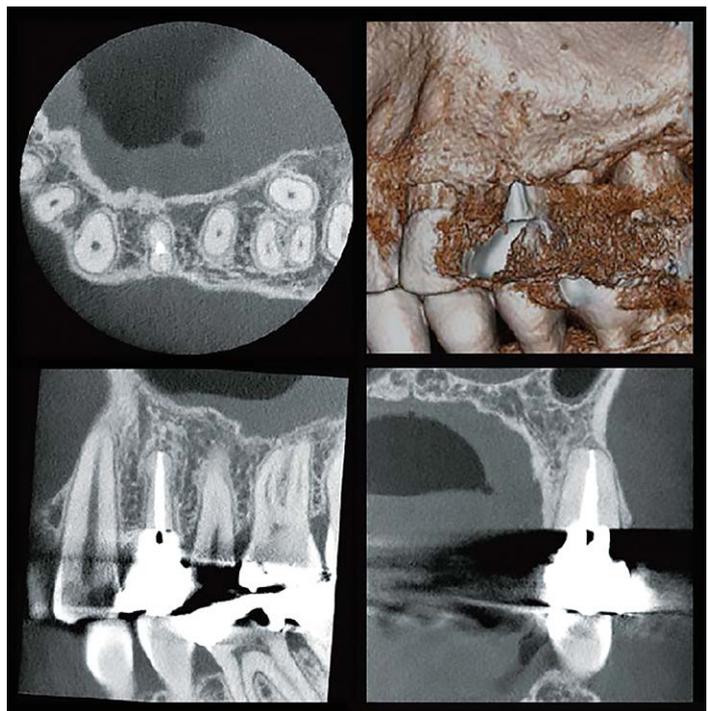


歯科・口腔外科診療部長
野津 一樹

今回は最近歯科・口腔外科に導入された新しい設備を紹介します。

●歯科用CT撮影装置

CTでは通常のレントゲンではわからない情報が得られ、現代の歯科・口腔外科診療には必須の設備といえます。当院ではこのCTを撮影する装置として、一般的な医科用CT撮影装置に加えて歯科用CT撮影装置を備えています。歯科用CTは通常の医科用CTと比較して画像の解像度が高く、歯や骨をより詳細に描出できる、また短時間で撮影できて被爆線量が少ないなどの利点があります。現在、智歯（親知らず）と神経・血管との3次元的な位置関係を確認したり、インプラント治療のシミュレーションなど幅広く活用していますが、診断や治療の精度は確実に向上します。病院の歯科、口腔外科でこの歯科用CT撮影が可能な施設はまだ多くはありません。





●ピカッシュ®装置

ピカッシュ®とは義歯（入れ歯）にナノ銀イオンコーティングを施すことで抗菌作用を持たせる技術です。口腔内には700種類以上の細菌が生息しており、義歯の臭いやぬめりなど汚れの原因となります。高齢の方では義歯の汚れが肺炎の原因となる可能性があるため、普段から義歯を清潔に保つことが大切です。ピカッシュ®により義歯の汚れの元となる細菌をシャットアウトでき、また毎日のお手入れは水洗いだけでよく、義歯洗浄剤を使用する必要ありません。2020年7月現在、島根県内でこのピカッシュ®が実施できる施設は当院のみとなっています。



●歯科治療ユニット

2020年6月に最新の歯科治療ユニットが導入されました。歯科治療ユニットとは歯科治療のために患者さんが座る椅子、口の中を照らすライト、歯や義歯を削る機械など一式の総称です。今回、新しい椅子は鮮やかなピンク色のシートで診療室が華やかになりました。ライトはLEDで非常に明るく見やすくなり、歯を削るドリルも動きがスムーズです。歯科治療は非常に繊細ですので、器具の違いが治療精度に直結することが実感できます。



今後も積極的に最新の機器を導入・活用することで患者さんに安全かつ質の高い医療を提供していきます。

医事課受付について

医事課 高橋 麻里

患者さんが病院に来られた際の最初の受付である“医事課受付”についてご紹介いたします。

来院された方は、医事課受付に以前といくつか変わった点があることをご存じでしょうか。今回は、新しく導入されたものについてご案内します。



筆者一番左

● 検 温

コロナウイルス感染予防対策のため、外来を受診される患者さんとそのご家族の方、また入院される患者さんとそのご家族の方には、来院時に非接触型体温計による検温をお願いしております。また、外来患者さんとそのご家族の方には、「呼吸器症状等に関する問診票」の記入もあわせてお願いしております。来院される方にはお手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。



● カーテン

朝早く来られた患者さんはお気付きかもしれませんが、6月半ばより医事課受付にアコーディオンカーテンを取り付けました。防犯上および感染予防の観点から、カーテンを設置することとなりました。カーテンは、受付開始時間の8時30分および診療終了の17時15分に職員が開閉いたします。朝ご用のある方にはお待ちいただくこととなりますが、カーテンが開きましたら、総合受付におります職員にお声がけください。

● 自動釣銭機

6月より、会計窓口において、従来のレジ機に替わり、自動釣銭機を導入しました。自動釣銭機の導入により、より正確に会計を行えるようになったことに加え、会計金額がモニタに表示されるようになったため、皆さんに安心していただけることと思います。

今後は、患者サービスの更なる向上を目指し再来受付機、自動入金機の導入を予定しております。新しく機械が導入された際に、操作面でご不明な点がございましたら、総合受付におります職員にお気軽にお声がけください。



『知っておきたい！骨粗しょう症』

好評連載中

5月25日から連載スタート
毎月 最終月曜日に掲載しています



— 掲載予定内容 —

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 2020年 05月：骨粗しょう症ってどんな病気？ | 2021年 01月：骨粗しょう症をふせぐ運動 |
| 06月：骨粗しょう症になりやすい人 どんな人？ | 02月：転倒による骨折を防ぐための運動 |
| 07月：骨粗しょう症？自分でチェックしてみよう | 03月：骨粗しょう症治療に欠かせない歯周病予防 |
| 08月：骨粗しょう症の診断と必要な検査 | 04月：骨粗しょう症治療の今後の展望 |
| 09月：骨粗しょう症の治療（1） | |
| 10月：骨粗しょう症の治療（2） | |
| 11月：骨粗しょう症をふせぐバランスのとれた食事 | |
| 12月：骨粗しょう症をふせぐ食事：レシピ紹介 | |



新聞を見逃してしまった方も大丈夫！

当院ホームページの  をクリック

過去のコラムが閲覧できます
ぜひご覧ください



今月のレシピ



当院の管理栄養士が健康や美容などに効果的なレシピをご紹介します

管理栄養士 周藤 あゆみ

●材 料

(4人分)849kcal

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ① 餃子の皮……………20枚 | ⑦ 塩……………3g |
| ② 鶏がらスープ……………200ml | ⑧ 醤油……………小さじ3 |
| ③ ゼラチン……………5g | ⑨ 蜂蜜……………3g |
| ④ 豚ひき肉……………200g | ⑩ オイスターソース……………小さじ1/2 |
| ⑤ 玉 葱……………100g | ⑪ 胡麻油……………少々 |
| ⑥ 干し椎茸（水でもどす）……………小1 | ⑫ レモン……………1/2個 |

●作り方

- ① スープを作る
スープの素をお湯で溶かし、少し冷ましてからゼラチンを入れよく混ぜて冷蔵庫で冷やし固めます。固まったら、スプーンなどを使って崩しておきます。
- ② 種を作る
刻んだ玉葱・干し椎茸と肉、調味料をすべて入れよくこねます。途中からゼラチンで固めて崩したスープとレモンの絞り汁を入れ、全体がよく混ぜて粘りが出るまでこねたら、30分冷蔵庫で寝かせます。
- ③ 皿の上に餃子の皮をおき、タネをのせます。（タネの量を欲張ると蒸した時に壊れ易くなります。）皮の端に手で水をつけて包む。
- ④ クッキングシートの上に並べ5～8分蒸す。

レモン香る、ジュワア〜と、 《小籠包》

まだまだ暑いこの季節、疲れが出ていませんか？
そんな時には、豚肉がおすすめ。
炭水化物をエネルギーに変える時に役立つビタミンB1を多く含み、疲労や倦怠感を予防する効能が期待できます。

今回はそんな豚肉を使って、かじった瞬間アツアツ肉汁がたっぷり、レモン風味の小籠包をご紹介します。

小籠包はお店で食べるものとイメージを持っている方も多いかもしれませんが、餃子の皮を使えば作り方はそんなに難しくなく、自宅でも本格的な小籠包が召しあがれます。

是非、作ってみて下さい。





あなたの歩き方指導

理学療法士(骨粗鬆症マネージャー) 布野 宏治

4月から骨粗鬆症外来が始まりました。骨粗鬆症の治療は薬と食事、運動が重要です。

その1つである運動について指導を行っています。筋力増強運動、バランス運動、歩行チェック、転倒予防指導等を行います。中でも歩行チェックに用いているのがゼプリス Win FDM システム（一般的には平衡機能計と言います）です。そこではストライド長、ケーデンス、歩行速度、足底圧のチェック等の項目を参照にして、歩幅や歩数、歩行速度が低下しているのか、また足底圧がきちんと荷重支持領域（踵、外側中足部、前足部）で支持ができていのかなどを数値や図で示して説明を行います。実際に歩いた足跡が表示されるので、患者様には分かりやすいと好評です。歩き方1つで転倒予防、1次骨折予防に繋がるので皆様も機会がありましたら計測してみたいはいかがでしょうか？



「Welcome to西2階病棟」

西2階病棟 内田 加奈子

この春、西2階病棟には新人看護師2名を含めた合計8名のスタッフが新たに加わりました。感染防止策を徹底している今、全スタッフが集まる機会を設けることができません。そこで、休校中の娘に協力してもらいウェルカムボードを作成しました。趣味やコロナ禍での自宅の過ごし方などをスタッフ全員にカードに書いてもらい、休憩室に掲示しました。会話のきっかけとなったようでボードを見ながらたくさん話をする様子が見られました。



理念

私たちは心温まる医療を実践します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った安心・安全な医療を行います。
2. 医療人として責任を自覚し、高度で良質な医療を行います。
3. 整形外科とリハビリテーションの基幹病院として、患者さんの身体機能の回復・維持、生活の質の改善を支援します。
4. 地域の医療・介護・福祉機関と連携し、地域に根ざした医療の充実に努めます。
5. 人材育成を進め、働きがいのある病院づくりに努めます。

患者様の権利

あなたは、人種・国籍・性別・年齢・宗教、その他の個人的な背景に拘らず、差別なしに適切な医療を受ける権利を持ちます。あなたは、担当の医師や病院を自由に選択できる権利を持ち、またどの治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を持ちます。あなたは、すべての医療上の記録を知る権利を持ちます。また、医師から症状について十分な説明を受ける権利を持ち、自分自身に関わる治療方針を自由に決定できる権利を持ちます。あなたのプライバシーと個人情報は完全に保護いたします。

【編集後記】

一時減少傾向だったコロナ患者の増加が収まりません。前回、GWの帰省について触れましたが、お盆休みの帰省まで続くとは思いませんでした。島根県でも8月に入りクラスターの影響で1週間(8/4~10)の10万人あたりの患者数が沖縄・東京・福岡・大阪に次ぎ5番目に多い県となりました。市中感染でないとはいえ、どのように感染が広がるかわかりません。普段の生活の中で感染予防対策の徹底をしましょう。中国5県からも「うつらない・うつさない努力を!」と発信されています。年末年始には気兼ねなく外出・帰省等が出来るよう自粛生活を継続していきましょう。



Japan Community Health care Organization JCHO / ジェイコー
独立行政法人地域医療機能推進機構
玉造病院

〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL.0852-62-1560

ホームページからたまつくりNOWがダウンロードできます。
<https://tamatsukuri.jcho.go.jp>

■編集・発行責任者 院長/池田 登 ■広報/川合 準